



この夏をどのように過ごすか、考え中の方、海や山でもうまっ黒に日焼けした方など、落ち着いた読書はいかががでしようか。あの時読めば良かったと思っている本が、どこかであなたの来るのを待っていますよ。

◇一般図書◇

- 最澄瞑想 梅原 猛
菊とライオン 島田孝右
ブラハ幻景 C・ウラスト
こんな役人がいてもいい
若杉和夫
商社マンがゆく 樋口健夫
ワンパクの勧め 森末慎二

- 超電導革命 牧野 昇
手作りジュースと果実酒 遠藤きよ子
夏の味人気料理 鎌倉書房
消えた遺体 小山 巖
ENJOYオートキャンプ 日本交通
マラー私の時代が来た 桜井健二

- 十二夜 森 敦
女の人生度胸しだい 広瀬久美子
メコンに死す P・ピリヤ
オクトーバー・ライト
J・ガードナー
外 一八〇冊

◇児童図書◇

- おとなへの設計図
星座ものがたり 夏
すぐできる夏休み冬休みの自由研究
富士山にのぼる
小学生のための夏休み手づくりけっさく集
すぐに使えるカット集

- 英語おもしろ勉強法 全六巻
少年少女の文章上達法
ふしぎなふるしきづつみ
おかあちゃんごめんね
おくれたきたばくの夏休み
おじいちゃんがきたひから
おりひめとひこぼし
ばあちゃんママのなつやすみ
さくじいちゃんのふるさとへ
たのしいあそびうた
わがままロボットがないた
もう一人ぼっちじゃない
外七九冊
一計一
一般図書 二百四冊
児童図書 百二冊

子供会シリーズ (1)

遊びのあゆみ

子どもたちの待っていた夏休みが始まりました。長い夏休みをどのように過ごすかが家庭や育成会の課題となります。そこで今回から遊びの大切さを考えながら、子ども会(子どもクラブ)の育て方を考えたいと思います。
子どもの遊びについて親の

見方は時間を追って変化してきました。遊びが子どもを育てる働きとして重視されてきたのはつい分と前からでした。しかし、遊びを重く見たり軽く見たりするのは時代とともに変わってきました。
戦前学校では「よく学び、よく遊び」ということを校訓

にしている学校もありましたが、それは遊ぶことの扱いが軽かったようでした。特に農村の親たちは子どもを労働力の一つとして頼りにしていました。だから学校で遊ぶといっても、家に帰ると働くことを強制されました。農村の大人たちは遊ぶことより野良仕事をする子のほうがよい子だという風があったようです。
戦後農機具の発達と農業経営の進歩によって子どもの農業労働に従事する割合が少なくなりしました。そして現代は

農業労働をする子はほとんどなくなりしました。それに代って「勉強」が前面に押し出されてきました。「仕事をしないで遊んでばかりいる。」から、「勉強をしないで遊んでばかりいる。」に変化してきたのです。「遊んでばかりいる。」ということの中には遊び軽視の考えがあるのではないでしようか。
これに対して都市地域では遊びは人間に成人する為に大切な働きのあることが認識されていきました。これは心理学の大衆化の表れでした。
子どもに問題があったら、教育委員会の教育相談室へ電話をしてください。
教育相談室
☎(43)1111